

pixDiff

pixDiff version 1.25

2枚の画像を、画面で比較するためのソフトウェアです。画像ファイルにレタッチやフィルタリング、圧縮などの処理を施した後で、その効果を視覚的に比べるために開発されたツールです。

■ ファイルの選択と表示



2枚の画像ファイルを選択します。画像が読み込まれ、画面に表示されます。下の形で切り替えながら、画像の差異を目視で確認できます。表示モードは、メニューからの選択、マウス左クリック、またF5キーで切り替えることができます。



カラーモード（フルカラー→赤チャンネルのみ→緑→青）は、メニューからの選択、また、F4キーによって切り替えられます。



1 1枚目の画像を表示。マウスクリックで切り替え



2 2枚目の画像を表示



ワイパーを上下に移動しながら比較



ワイパーを左右に移動しながら比較



スコープの中に1枚目を表示し、移動させながら比較



スコープの中に2枚目を表示し、移動させながら比較



画面を上下に分割し、両方を表示



画面を左右に分割す、両方を表示



 それぞれのモードで赤チャンネルのみを表示

 緑チャンネルのみを表示

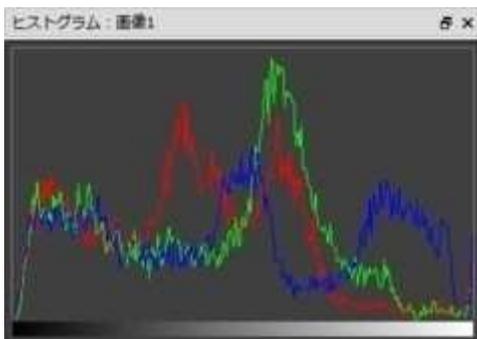
 青チャンネルのみを表示

■ 画面の使い方



画面右の一番上には、インデックス画像が表示され、どの部分を拡大しているかが示されています。

各コントロールは、メイン・ウィンドーから放して、見やすい位置に移動したり、必要ないものは閉じておくこともできます。メイン・メニューの『コントロール』から表示のオン、オフを切り替え可能。



画面右の中央には、二つの画像の特性を現すヒストグラムと相関図が表示されます。このグラフ上で、マウス左クリックと、表示される項目が下記のように替わります:

- *1枚目→2枚目の画像のヒストグラム
- *赤→緑→青チャンネルのヒストグラムの比較
- *赤→緑→青チャンネルの相関図

グラフ上で右クリックしてメニューから選択することも可能。

画像の特性値		
属性	画像1	画像2
ファイル	-	-
ファイル名	PA190030.JPG	20030101_160203_8.JPG
フォーマット	JPG	JPG
サイズ	459319	453291
作成日時	2013/02/07 9:21	2014/05/12 10:25
更新日時	2001/10	画像リスト
閲覧日時	2014/06	<input checked="" type="checkbox"/> 画像の特性値
画像	-	画像統計値
形式	Joint Ph Experts format	OpenGLリソース
		サポートする画像フォーマット
幅[画素]	1600	1600
高さ[画素]	1200	1200
デプス	8	8

画面右の下には、以下の各種データが表形式で表示されます:

- *画像ファイル 名一覧
- *画像の特性値
- *画像の統計値
- *プログラムがサポートする画像フォーマット一覧
- *OpenGLリソース(ハードウェア情報)

表示する情報は、表の上で右クリックして現れるメニュー、または、メイン画面のメニュー、『データ』から選択できます。

■ その他の操作

 シーケンスの選択。
画像ファイル二つの代わりに、画像ファイルの入った二つの

画像リスト		
#	C:/My Album/Album2001	C:/My Album/Album2003
1	PA180017.JPG	20030101_144153_6.JPG

ディレクトリーを選択することもできます。この場合、二つのディレクトリー入っている画像ファイルが、ファイル名でソートされ、順に表示されます。

	PA180017.JPG	20030101_144153_6.JPG
1	PA180017.JPG	20030101_144153_6.JPG
2	PA180023.JPG	20030101_144340_7.JPG
3	PA190030.JPG	20030101_160203_8.JPG
4	PA190032.JPG	20030101_160233_9.JPG
5	PA190033.JPG	20030108_153559_10.JPG
6	PA190034.JPG	20030108_154058_11.JPG
7	PA190036.JPG	20030112_110439_12.JPG

このとき、画面右下の画像リストには二つのディレクトリーにあるファイル一覧が示されており、表の上でダブル・クリックすることで、その画像のペアを表示することができます。

➔ 『フレーム』メニューから、『次へ』、『前へ』か、ツールバーの矢印キーによって前後の画像ペアに移ることができます。

📁 ファイル・エクスプローラーから二つの画像ファイル、または二つのディレクトリーを選択し、pixDiffの画面にドラッグ・アンド・ドロップすることで、ファイル、または、シークエンスの表示を開始します。

■ 画面の操作

画像が表示されている状態で、メニュー、ツールバー、マウス、キーボードより、下記の操作を行うことができます。

🖱️ スクロール。画像上で、マウス右ボタンを押し下げながら移動、また、キーボードの数字『12346789』で表示範囲を移動。

🔍 拡大。画像上で、マウス・ホイールを回転させるか、『+』キーで表示範囲を拡大。

🔍 縮小。画像上で、マウス・ホイールを回転させるか、『-』キーで表示範囲を縮小。

🖼️ 『5』キーで画像全体を表示。

🔍 『0』、『Home』キーで実寸(1:1)表示。

🖼️ F11 キーで画像部分をフルスクリーン表示。もう一度、F11を押すと元に戻ります。

🔄 F4 キー。画像の比較モードを切り替え。

🔄 F3 キー。カラー表示モード(RGB→赤→緑→青チャンネル)を切り替え。

🔧 環境設定 画面を表示。

■ その他

画像フォーマット: pixDiffは画像の読み込みにImageMagickのライブラリMagick++を使用しています。200種類以上のフォーマットに対応しています。